

AIを活用した旭川市民生委員児童委員活動支援業務プロポーザル審査会 採点表

提案者	委員氏名

審査項目／評価基準	評価ポイント	企画提案書 作成要領 該当項目	配点	評価及び評価点数					点数
				極めて 良好	良好	普通	やや 不十分	不十分	
1 課題解決の方向性に関する項目									
・事業の目的や趣旨を理解し、課題解決に対するアプローチの手法が現実的かつ効果的なものであるか。	・事業の目的や趣旨に対する理解が示されている。 ・本市の課題の認識が明確であり、それに対する取組方針が明確に示されている。 ・解決の手法及びその効果が明確に示されており、課題解決に向けた効果が期待できる。	1 (1)	15点	15~13	12~10	9~7	6~4	3~1	/15
2 民生委員児童委員のニーズの把握に関する項目									
・民生委員児童委員に対するヒアリング及び要件定義等の手法が具体的に示され、ニーズを的確に把握及び分析するための効果的な手法が練られているか。また機能の開発においても、民生委員児童委員の意見を仕様に反映させるプロセスを設けるなど、民生委員児童委員のニーズを反映するための具体的な及び効果的な手法が示されていること。	・民生委員児童委員に対するヒアリング及び要件定義等の手法（回数等）が具体的に示されており、かつ地域住民のニーズを的確に把握及び分析するために効果的な手法である。 ・機能開発の工程において、民生委員児童委員の意見を仕様に反映させるプロセスを設けるなど、民生委員児童委員のニーズの反映に関して具体的なかつ効果的な工夫が示されている。	1 (2)	15点	15~13	12~10	9~7	6~4	3~1	/15
3 機能等に関する項目									
・AI技術に対する組織としての理解及び経験、知見を有しているか。	・AI技術に対する組織としての理解及び経験、知見を有している。 ・AI技術による課題解決や数年後のビジョンを構築し、ランドデザイン・ロードマップを描くことができる。	1 (3)	10点	10~9	8~7	6~5	4~3	2~1	/10
・仕様書に掲げる機能のうち、必須機能の要件を満たした具体的かつ効果的な提案があるか。	・仕様書に掲げる機能のうち、必須機能の要件を満たす提案が具体的に示されている。 ※必須機能 ・民生委員児童委員用Q & A機能 ・活用状況評価機能 ・Q & A生成履歴保存機能 ・苦情情報更新機能	1 (3)	25点	25~21	20~16	15~11	10~6	5~1	/25
・仕様書に掲げる機能のうち、任意機能について具体的なかつ効果的な提案があるか。	・仕様書に掲げる機能のうち、任意機能について具体的なかつ効果的な提案が示されている。また、仕様書に記載のないものであっても、課題解決に資する具体的な提案が示されている。 ※任意機能 ・音声入力機能 ・令和9年度までのランドデザイン及びロードマップを踏まえた機能	1 (3)	10点	10~9	8~7	6~5	4~3	2~1	/10
・拡張性の高い構成であるか。 (特に、将来的に関係機関のホームページの掲載情報を活用するための機能の拡張に対応できるか。情報セキュリティ対策を講じた設計であるか)	・拡張性の高い構成が具体的に示されている。 (特に、将来的に関係機関のホームページに掲載されている支援情報を安全に収集・蓄積・利用できるように機能の拡張を行うことを想定し、情報セキュリティ対策を講じた設計が行われているか) ※仕様書において示す拡張性の例 ・新たな機能の追加への対応 ・掲載情報の機密性に対応した機能設計 ・システムのバージョンアップや不具合改修	1 (3)	15点	15~13	12~10	9~7	6~4	3~1	/15
・デジタルデバインドへの対応に関する提案が具体的かつ効果的であるか。	・デジタルデバインド(デジタルを扱える人とそうでない人の情報格差)に対する理解が示されている。 ・デジタルデバインドへの対応に関する提案が具体的かつ効果的である。	1 (3)	5点	5	4	3	2	1	/5

A I を活用した旭川市民生委員児童委員活動支援等業務プロポーザル審査会 採点表

提案者	委員氏名

審査項目／評価基準	評価ポイント	企画提案書 作成要領 該当項目	配点	評価及び評価点数					点数
				極めて 良好	良好	普通	やや 不十分	不十分	
4 業務実施体制等に関する項目									
・業務を確実に遂行するため、責任者や各作業工程における役割分担が具体的に示されているか。	・本業務の受託者の実施体制図が示され、担当者が確定している要員の氏名が明記されているなど、必要十分である。 ・各要員における役割分担が具体的に示されている。	1(4)	5点	5	4	3	2	1	/5
・運用時のサポート体制が具体的に示され、緊急事態の発生や市の要請等にすぐに対応できる体制が整っているか。	・障害対応や保守体制等のサポート体制が具体的に示されている。 ・緊急事態の発生や市の要請等にすぐに対応できる体制が整っており、問い合わせ窓口が明記されている。	1(4)	5点	5	4	3	2	1	/5
5 業務スケジュールに関する項目									
・履行期間内に目的の業務を完了するために過不足のない行程が考えられているか。	・業務内容を踏まえて、具体化された全体スケジュールが示されている。 ・上記の全体スケジュールに基づき、各工程における作業内容、作業の前後関係、成果物等が具体的に示されている。	1(5)	5点	5	4	3	2	1	/5
6 データの管理体制に関する項目									
・機能の構築及び運用上で取得・蓄積する情報の管理体制が具体的に示され、情報セキュリティや個人情報保護等に十分配慮した体制となっているか。	・使用するサーバの情報や、ネットワークの接続方法が具体的に示されている。 ・仕様書(案)の内容を踏まえて、有効なセキュリティ対策が具体的に示されている。 ・仕様書(案)の内容を踏まえて、個人情報保護に十分配慮した体制が具体的に示されている。	1(6)	10点	10~9	8~7	6~5	4~3	2~1	/10
・AI技術に精通する開発スタッフが適切に配置されているか。	・幅広くAI技術等に精通したスタッフが、本業務を確実に遂行するため適切に配置されている。 ・責任者や取組における各要員や役割分担を含め実施体制が具体的に示されている。	1(6)	10点	10~9	8~7	6~5	4~3	2~1	/10
7 事業経費に関する項目									
・事業経費の積算が適切であるか。 ※事務局にて評価します。	※予算額と最低見積価格の差額を5で除した額をAとし、以下の基準とする。 最低見積価格以上(最低見積価格+A)未満 → 10 (最低見積価格+A)以上(最低見積価格+A×2)未満 → 8 (最低見積価格+A×2)以上(最低見積価格+A×3)未満 → 6 (最低見積価格+A×3)以上(最低見積価格+A×4)未満 → 4 (最低見積価格+A×4)以上 予算額以下 → 2	1(7)	5点	5	4	3	2	1	/5
8 業務実績等に関する項目									
・本業務に資するような規模の業務実績を有しているか。	・約1,000人分の経験や知識を共有し、予測した答えを出すAI開発導入実績を有している。	1(8)	10点	10~9	8~7	6~5	4~3	2~1	/10
・高齢者等ITリテラシーの高くない層向けのシステム開発及びその仕様設計に当たってヒアリングや要件定義を行った経験及びノウハウを有しているか。	・高齢者等ITリテラシーの高くない層向けのシステム開発及びその仕様設計に当たって、ヒアリングや要件定義を行った経験及びノウハウが具体的に示されている。	1(8)	5点	5	4	3	2	1	/5
合 計									
/150									

※事業経費積算金額の評価点数については、上記のとおり算定し、あらかじめ記載します。